

令和3年度 地域依存症対策研修事業
(地域依存症対策支援者スキルアップ研修)

テーマ：「支援者と家族のためのマインドフルネス」

講師：地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター リハビリ部 作業療法班 佐藤嘉孝氏
日時：令和3年10月1日(金) 9:30~16:30
会場：広島県立総合精神保健福祉センター(パレアモア広島) 体育館

刑の一部執行猶予制度の施行やIR実施法案の成立等、依存症に関連した法が整備され、依存症の問題に悩む当事者や家族の相談が増加しています。

支援者は、相談業務の中で悩める場面も多いと思います。

マインドフルネスを体験し、自己効力感やセルフケアを身につけることで、今後の当事者・家族との適切な関係づくりや対応に活かしていきたいませんか？

＜講師紹介＞

地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター 依存症部門にて、入院/外来(集団/個別)や訪問で、様々な依存症治療を行っている。

マトリックス研究所やUCSDマインドフルネスセンター、MHA ビレッジロングビーチなどで研修を修了している。

※UCSD (University of California, San Diego カリフォルニア大学サンディエゴ校) は米国に10校あるカリフォルニア大学の一つで、1960年に設立。MHA ビレッジ ロングビーチは、ロサンゼルス郡精神保健協会(MHA: Mental Health America of Los Angeles)が、1990年から公的資金によりロングビーチで運営している、統合的な精神保健サービス機関である。

- 1 対象 1) 保健、医療、福祉、司法、警察、更生保護、教育等の機関で、相談業務に従事する者
2) 依存症等の当事者を持つ家族
※ 支援者向けの研修会ですが、当日の会場には、当事者を持つご家族も参加します。

- 2 定員 30名

3 会場

広島県立総合精神保健福祉センター(パレアモア広島) 体育館 (安芸郡坂町北新地2-3-77)
※ 講師はオンライン講演です。会場には来られません。



※座る、寝そべる等、身体を動かすことが多い研修です。体育館床上で横になってエクササイズをするため、ヨガマットまたはタオルケットをご持参いただき、動きやすい服装でお越しください。

- 新型コロナウイルス感染防止のための対策(検温、換気、手指消毒等)を講じたうえで研修を実施します。
- 感染症拡大の影響や天候により、中止等、変更する場合は、受講希望者に当センターから直接連絡します。

3 参加申込み

- 申し込み期限 令和3年9月17日(金)
※申込み期限必着で、申込書を地域支援課にFAXまたはメールで提出してください。

4 主催(申込み・問合せ先)

広島県立総合精神保健福祉センター 地域支援課 新宅・岡田(安芸郡坂町北新地2-3-77)
電話: 082-884-1051 (平日8:30~12:00, 13:00~17:15)
E-mail: shochiiki@pref.hiroshima.lg.jp

FAX : (082) 885-3447
メール : shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp
宛先 : 県立総合精神保健福祉センター
(〒731-4311 安芸郡坂町北新地2-3-77)
地域支援課 新宅・岡田 行
(電話 : 082-884-1051)

令和3年度 地域依存症対策支援者スキルアップ研修 申込書

機関名 _____

担当者 _____

電話 _____

研修会名 : 「支援者と家族のためのマインドフルネス」

講師 : 佐藤 嘉孝氏 開催日 : 10月1日(金)

所属(課)	職名	氏名



- (注1) 申込書に記載された個人情報は、本研修会の運営のためにのみ使用します。
(注2) 申込書は、9月17日(金)必着で、FAXまたはメールにて提出してください。
(注3) 申込が定員を超えた場合は先着順を基本として調整し、参加をお断りする場合のみ受講希望者に当センターから直接連絡します。